



11月号
発行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部会
<http://www.ozo.jp>

藤本喜郎さん 『神戸アグリマスター』に!

平成五年より各分野の優れた技能・技術者の卓越したもののづくり技術を後継者に継承してもらおう

十月八日の今年度神戸マイスター認定式の模様が、広報こうべの十一月号「市長ほつとSHO」に掲載されており、ご覧になった方も多いと思います。その五名の受賞者の中に、藤本農園・藤本喜郎さんがアグリマイスターに認定されました。今後の更なるご活躍を期待しつつ、今回の受賞を大沢町民として心よりお喜び申し上げます。



と、市がマイスターとして認定し支援しようとするものです。藤本さんは、九十八人のマイスターの中で四人だけのアグリマイスターになられたわけです。今回の受賞にあたり、お話を伺いました。「まず、受賞のご感想を」
光栄なことと思っております。しかし私は他のマイスターの方々のような卓越した技能を持っているとは思いません。努力をして早くその境地に入らねばと思っております。
「現在、農園を通じて取り組ん

でいただけることをお教えください。」
開設している直売所の充実です。会員それぞれのレベルの向上はもちろんです。当農園としても新技術の取得や、新品種の導入などお客さんに支持されるように努めています。またフルーツパークの「地産、地消」の要望に答えられる体制を整えようとしています。
「今後の大沢の農業の方向性についてどう思われますか。」
市街地に近くお客さんが身近におられることで野菜、果樹などの販売先はいくらでもあります。また観光農業など、善入のイチゴ狩りを見るまでもないでしょう。すべての業界が不況でもがいているとき現在むしろ恵まれた環境にあるとさえいえます。
「若い世代の農業離れについて。」
残念に思います。今農業に係ることは近い将来大きなチャンスを得ることになるでしょう。
「食育について、ご意見を。」

健全な食生活があつてこそ、体力、気力の充実が図れます。安全、安心な農産物を今後とも提供してゆきます。
「今後のマイスターとしての抱負をお願いします。」
大沢町の唯一の産業の農業で、生活していける方法を提案していきたいと思っています。

農業塾だより

農業塾農産加工

本年のカリキュラムもそろそろ終了に近づいてきました。十一月二十二日には、午前中は座学で、午後は、今年作った白菜を原料にしてキムチづくりの実習を行いました。
講師は、本職のママさんです。次の開校日には、最終行事として、お正月の、しめ縄を作る予定です。



大沢町民芸術祭 終わる

菊の香薫る十一月二、三日フルーツフラワーパーク「蘭の間」を主会場に、第二十八回おおぞう町民芸術祭が開催されました。

当日は、菊と寄せ植えでホテル玄関が大変華やかに飾られました。また、児童館や幼・小・中による年齢に応じて工夫をこらした展示と演技や町民の皆様の日々の努力や練習の成果が披露されました。明るく天井の高い会場で、楽しく鑑賞頂けたことと思います。摩耶の間では坪庭を見ながらのお茶席でおいしいお茶とお菓子が振るまわれ、憩いの場となりました。隣では大沢町のホームページの紹介やビデオの上映を行ないました。

今年も北区長をはじめ来賓の方や町民の皆様にご多数お越し頂き、賑やかに執り行うことができました。御協力ありがとうございました。来年も多くの作品が展示されたい芸術祭になりますよう、御協

力お願いいたします。(上西寿)

学年を越えた学びの場 大沢校音楽会

会場いっぱいのお客様の温かい拍手の中で、二十年度の音楽会が終わりしました。

一人ひとりが自分の音に責任を持ち、そして、みんなで、より素晴らしい音をつくり上げていく過程で、子どもたちは多くのことを学んだことと思います。

幼稚園・小学校低学年のステージには、お客様も同じような緊張感を持って、愛情いっぱい眼差しで見守ってくれていました。終わったときの拍手には、「がんばったね、よかったよ。」という優しさが入っていました。小学校高学年・中学生の演奏には、どんな音楽を聴かせてくれるのだろうと、ワクワクするような期待感を持って耳を傾けていたのではないのでしょうか。ハーモニーの美しさや、合奏の迫力に大きな拍手をいただきました。上級生の演奏を聞いた下級生は、自分もあんな演奏

ができるようになりたいと、さらに意欲をもったことでしょう。子どもたちは『行事で育つ』とよく言われます。目標を持った具体的な取り組みと、学年を越えた学びがそこにあるからだと言音楽会を通じて思いました。

去る十月二十九、三十日の両日、全国民生委員児童委員大会が神戸市内で開催され、全国から四千名以上の委員が参加をしました。

4000名以上の委員が参加 『全国民生委員児童委員大会』

この大会は、全国各地で活動する民生委員児童委員がそれぞれの活動の内容等について共有し、意見交換を行い、交流を深めるとともにこれからの活動の一層の充実をめざすことが目的です。今、少子高齢化や核家族化が進む中、ひとりぐらし高齢者の見守りや、児童虐待への対応など、民生委員児童委員の役割が高まっています。大会に参加して、民生委員制度創設九十周年の

行動宣言「広げよう地域に根ざした思いやり」を基本に活動の前進をはかる決意を新たにしました。(乗井幹雄)

準備万全の 五町ウォーキング



ー野みち・里みち・いいぞう・おおぞう！ーをキャッチフレーズとして十一月十六日(日)に予定されていた大沢町主催の5町ウォーキングが雨のため中止となりました。このウォーキングには町内のスタッフを含めて約二百名の参加が予定されていました。町外から訪れる多くの方に大沢の自然と町民の豊かな人情に触れていただくために万全の準備をしてきましたが、前夜から降り続いていた小雨が止むことなく午前七時に中止を決定しました。

ウォーキング成功のために諸準備をしていただいた各種団体や多くのボランティアの皆さんの熱意に改めてお礼を申し上げます。(乗井幹雄)

婦人会だより

ごみ分別収集と資源集団回収十一月より容器包装プラスチックの分別が増え、指定袋による六分別収集が始まりました。一ヶ月が過ぎようとしています。慣れましてでしょうか。まだ一つ一つ確認しながらの方もあるかと思われませんが、今まで無意識に捨てていたものがこれもプラスチック製品かと、大変多いのに再認識させられます。ただこの一ヶ月のごみステーションの量を見ていますと、何だか少なくなつたように感じるのは私だけでしょうか。このまま減量につながればいいのですが。そして、資源集団回収も皆様にご協力頂き有難うございます。奇数月の第四火曜、上大沢・中大沢・日西原の各農業倉庫前、市原自治会館前、簾消防器具庫前の五ヶ所で行なっております。また、新聞・雑誌・ダンボールなど、ごみステーションに出されているのをよく見かけますが、リサイクルすれば資源となります。出来るだけ

け集団回収に出していただきますようお願いいたします。限りある資源を有効に活用する為にも、一人ひとりのルールを守つて次の世代につないでいきましょう。(渚上恵子)

菊

観賞の時期を迎えて

観賞の時期を迎えて菊を咲かせる楽しみを一度味わうと忘れられなくなりませす。手を掛けなければいかに立派な花を咲かせ、「感動！」させてくれます。来年はもっと良い花を咲かせたいと思うのもこの時です。今年も芸術祭に立派な展示をすることが出来ました。児童館、学校、らぽーとフルーツパークの菊講習会受講生の方々、沢山出展いただき、色とりどりのいろんな種類の菊が並びました。大沢町の人はもちろん、フルーツパークを訪れた人達も見てくださいました。芸術祭終了後も引き続き園内に展示され、国際交流で訪れた外国の方々も写真撮影されたりして大変喜ばれたようです。大沢町菊づくり同好会で、ご一緒

に菊づくりの魅力体験されませんか。(北本和美)

ふれあい喫茶全体会開催

十月二十九日、大沢地域福祉センターで、「音楽を通してふれあいを」をテーマに梶谷正治先生をお招きして、初めての合同ふれあい喫茶を開きました。同時に二本のリコーダーを使つての演奏や合唱。また、楽しいお話に感動したり笑つたりで、皆様には楽しんでいただけたのではないかと思います。当日はたくさんの方にお越しいただきました。ほんとうにありがとうございます。これから皆様も誘い合わせの上、気軽にふれあい喫茶にお立ち寄り下さい。スタッフ一同、お待ちしております。

(榎本文子)



梶谷正治先生

わら細工の会

十一月二十一日に松寿会の皆様に来校していただき、大沢小学校伝統のわら細工の会を催しました。この行事を心待ちにしている子どもたちに優しく、丁寧に指導していただき、初めて縄をなう一年生も苦労しながら自分の背より長い縄をなっていました。これには、取材で訪れていた神戸新聞社の中川さんも驚いていました。わら細工の後には教えていただいた方と一緒に給食を食べました。給食を食べながら昔の話を聞いていた子どもたち、松寿会の方々、みんな笑顔あふれる素敵な一日でした。



おぼろげなおすすめ

糀のあまぎけの作り方

糀と同量のお米で、おかゆ(米の量の約倍の水)を炊きます。人の肌の温度まで冷まして糀とよく混ぜあわせます。

ジャーがあれば最適ですが、無ければ炊飯器を保温にして、その中に入れ、蓋をきつちり閉めないで箸などで開けておきます。(5cm以上)一時間に一回位よく混ぜます。自然にやわらかくなり、甘味が増してきて約七時間から八時間で出来上がります。(量が少なければもっと早く出来ます)そのままでは甘すぎるので、適当にうすめ、たつぷりの土生姜とほんの少しの塩を入れ、沸騰直前に火をとめてお召し上がりください。

糀菌による自然発酵食品で、アルコール分は一切含まれず栄養素がいっぱいの、子供や介護食品としても最適です。

作り方などのお問い合わせは 電話954・0156へ (仲西千鶴子)

直売所だより

(おもしろ市場)

上大沢農会で「おもしろ市場」を開設以来、春夏秋冬の季節野菜やお米、特産物の工夫で内外の皆様に関心され、季節のイベントを通じても積極的な交流・親睦を深めています。今年も五月の「端午の節句の餅つき大会」に続き、十一月一日に「菊祭り」、二日は「新米試食会」を開催、上大沢の粘土質土壌栽培の「三ヒカリ」を沢山の方々に試食頂きました。皆さんの味覚確認は丁寧で三種のご飯を噛み締めながら、お米の種類や作り方・炊き方論議に花が咲きました。

調査では「コシ」「ヒノ」「キヌ」の順でしたが、つきだしの「田舎の素朴な芋の蔓の煮付け」も好評。年末二十八日には「地域最大の年末餅つき大会」を行います。皆様のご参加をお待ちしております。(榎本茂木)

大沢幼稚園園児募集結果

十月に來年度の園児募集を行い

俳句

俳句
新米や朝餉の膳に手を合わせ
畑仕事腰の赤は秋の風
秋高し赤子をあやす赤ちゃん語
大き手がよろこび新米確むる
輪台を付ければ菊も出番なり
通草の実あの木この木と弾けぬる
天高し十萬億土もこの果か
新葉を納屋に積み上げたる香り
何よりも間引茶料理父思う
大根茶を間引きて作る一夜づけ
三重子
たみえ
ちろが
弘昭
しろう
仲郎
福夫
正子
佐代子

ました結果、五名の入園希望がありました。当初は三名程と思っておりましたが、三田方面より帰ってこられる方が二名おられ、五名となりました。これで現在と同じく八名で来年度もスタートできると喜んでいきます。

スポーツ情報

★少年団野球練習試合

- 10/25 大沢7×2鹿の子台B
11/1 大沢7×3道場
11/16 大沢7×3長尾B
マック杯

★10/26 JAふれあいゴルフ大会

- 優勝 西山千秋さん(中大沢)
準優勝 小西元八さん(上大沢)
3位 弓場康孝さん(中大沢)

行事経過

- 10/27 パソコン教室
11/3 光山だより編集委員会
11/11 婦人会定例役員会
11/18 まちづくり部会定例会
11/19 やまびこ会研修会
11/23 ふれあい昼食会

町民の動き

おめでた

- 11/3 中大沢 久保充生さん
中上知子さんと
11/16 中大沢 稲田勝弘さん
中島朋子さんと

お詫び

九月号簾の秋祭り記事、「下浦恵二」様は「忠二」様の誤りでした。訂正しお詫び致します。